

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	とろんこアカデミーブリック	公表日	2026年 2月 1日	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	お子様一人ひとりに個別の学習個室を提供していく、年齢や体の大きさから部屋割りを考えている。またブレイルームも分けている。
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	お子様1人に対して必ず1人とスタッフが担当しており必要に応じてたのスタッフも支援に入る体制にしている。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	学習個室のドアを色分けしてあり、低学年のお子様でもわかりやすくしている。構造化・視覚化を心がけている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	お子様が個室に入る前と使用後に、消毒を徹底している。余計なものを置かないようにし、構造化をしている。
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	お子様一人ひとりに個別の学習個室を提供していく、落ち着かない時や気分が悪くなつた時など人目を気にせず休むことができる。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	0	常勤職員と非常勤職員の風通しを良くしていく、意見を出しやすい雰囲気作りを心がけている。業務改善につなげている。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	毎年、保護者様にアンケートにご協力いただいている。また、その内容を業務改善につなげている。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	常勤職員と非常勤職員の風通しを良くしていく、意見を出しやすい雰囲気作りを心がけている。業務改善につなげている。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	8	第三者評価は受けていない。 第三者評価は要検討。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	毎年、4月に行っている全社全体会議で研修を行っている。外部研修はスタッフ共有ノートで知らせている。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	支援プログラムを作成し、ブログにて公表している。
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	半年に一度の面談で、学校やご家庭での様子を聞き取ってアセスメントを行い、分析後個別支援計画を作成している。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	お子様一人ひとりの支援ノートを作成しており、非常勤職員の意見等収集した上でモニタリングを行って作成している。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	お子様一人ひとりの支援ノートで共有しており、個別支援計画も全員が見れるように環境調整している。
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	2	フォーマル・インフォーマルなアセスメントシートは使用していないが、保護者様から伺った情報と日々の観察からアセスメントをとっている。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	「本人支援」「家族支援」「移行支援」「地域支援・地域連携」を踏まえて、そのお子様にいま必要な項目を設定してカリキュラムを作成している。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	お子様一人ひとりの支援ノートを共有し、スタッフの意見を踏まえて活動カリキュラムを設定している。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	お子様一人ひとりの支援ノートを共有し、スタッフの意見を踏まえて活動カリキュラムが固定化しないように設定している。

供 應 機 関	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3	5	個別 1 対 1 での学習支援を基軸にしているため、集団活動は提供していない。	集団活動は提供できていないが、スタッフとのやりとりでソーシャルスキルトレーニング (SST) は盛り込んでいる。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	お子様一人ひとりに支援ノートがあり、記録を徹底している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	定期的にモニタリングを行っている。	半年に一度の保護者様との面談前にモニタリングを行っている。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	8	0	「日常生活の充実と自立支援のための活動」「多様な遊びや体験活動」「地域交流の活動」「こどもが主体的に参画できる活動」を意識している。	個別 1 対 1 の支援のため、組み合わせにくい基本活動もあるが、意識してカリキュラムを作成している。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0	「おたのしみタイム」や「リラックスタイム」は基本的にお子様のニーズを踏まえて設定している。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	お子様の状況を把握している児童発達支援管理責任者もしくは施設管理責任者が参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	必要であると感じたお子様の医療、教育、障害福祉等の関係機関とカンファレンスを行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0	必要であると感じたお子様の在籍している学校と情報共有を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	1		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	0	地域の児童発達支援センターから訪問を受けてスーパーバイズしてもらった。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	4	個別 1 退 1 の学習支援を基軸としているため、地域の児童館との交流はしていない。	保護者様やお子様からのニーズがあれば計画していきたい。
機 関 や 保 護 者 と の 連 携	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	1	施設管理責任者が参加している。	
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	保護者様から連絡帳やLINEで知らせている。事業所からも必要と感じた課題は都度お知らせして共通理解を持っている。	保護者様からの悩み等、電話で対応する時間の確保が難しい。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレンツ・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	3	研修に関しては有料のものはご案内しにくいので、行政開催の無料のものをご案内している。他の情報提供は抜粋して行っている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	新規ご契約時に行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	個別支援計画を作成するにあたり、面談時に保護者様やお子様の意向を確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0	個別支援計画を作成するにあたり、面談時に保護者様に説明を行い同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	保護者様から連絡帳やLINEまた電話で知らせていたいについて、助言している。	保護者様からの悩み等、電話で対応する時間の確保が難しい。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	6	保護者様のニーズがないので開催していない。保護者様はお仕事を持たれている方が多い。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	苦情があれば迅速に対応する体制を整えている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	毎日、活動の様子をブログを配信している。行政からの情報等は不定期に「プリックトピックス」を配布している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	6	個別1対1の学習支援をお約束して契約しているため、地域住民の方を招待できる体制がない。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	各マニュアルを策定している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	業務継続計画（BCP）を策定している。訓練も行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	契約面談時に確認している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	2	契約面談時に確認しているが、おやつの提供は行っていない。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	安全計画を作成している。研修や訓練も行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	安全計画に基づく取組内容は「プリックトピックス」でお知らせしている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	ヒヤリハットはスタッフ全員が確認できるよう共有していて再発防止に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	虐待防止の研修は全社全体会議で行っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0	身体拘束の研修は全社全体会議で行っている。	